

人口の現状・分析（H27～H30徳島県推計人口より）

◆総人口◆ ～若年層を中心に減少～

- 年平均約6,500人の減少（自然動態：約4,700人 社会動態：約1,800人）
 - ・「15歳～44歳」人口を捉えると、**減少数全体の約86%**を占めている。
 - ・特に「25歳～29歳」の**減少幅が最も高い**（H27-H30比較：△14.2%）
 - ※「20歳～24歳」の大学卒業後における転出が大きく影響していると思慮
 - ・生産年齢人口では、「45歳～49歳」人口を除く「全ての年齢階層」で減少

◆自然動態◆

- 年平均約4,700人の自然減
 - ・合計特殊出生率「1.5」台を4年連続で維持するものの、人口減少に伴い、「**出生数**」は**減少傾向**
 - ・「**死亡者数**」は、高齢化の進行に伴い**微増傾向**

★「結婚から子育て」までの多様な希望をかなえる対策強化

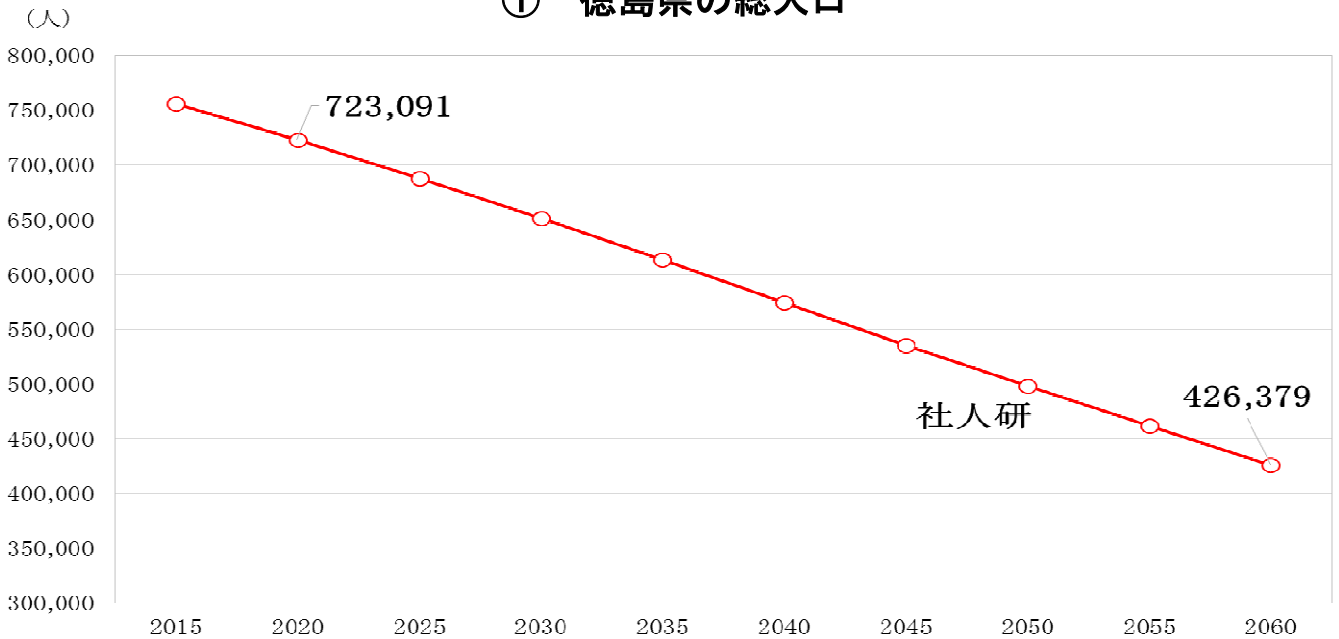
◆社会動態◆

- 男女合わせ、平均約1,800人の社会減
（女性の方が、年平均約430人、男性より減少数が多い状況）
- 転入者**<H27からの4年間合計>
 - ・転入者総数**46,660人**のうち、「**20歳・30歳代**」が27,440人で**約59%**
 - ・男性25,046人（54%）、女性21,614人（46%）と**女性の転入が少ない傾向**
⇒ 一定の割合（50%以上）で、**若い世代が転入**
- 転出者**<H27からの4年間合計>
 - ・転出者総数**51,977人**のうち、「**20歳・30歳代**」が31,622人で**約61%+加速傾向**
（H27:7,923人(60%) H28:7,600人(61%) H29:7,974人(61%) H30:8,125人(62%)）
 - ・男性27,411人（53%）、女性24,566人（約47%）と**女性の転出が少ない傾向**
⇒ 転入者を上回る、就職等を機にした「**若者の転出**」が**加速傾向**
- 転出超過**<H27からの4年間合計>
 - ・超過総数5,317人のうち、「**15歳～29歳**」が5,823人で**約110%**
⇒ 「**15歳～19歳(21%)**」では、高校卒業後の進学・就職を機とし、圧倒的に**男性の超過が多い傾向**（年平均：男性73%、女性27%））
★⇒ 「**20歳～24歳(61%)**」では、大学等卒業後の就職を機とし、比較的、**女性の超過が多い傾向**（年平均：男性38%、女性62%））
 - ・男性2,395人（45%）、女性2,952人（56%）と**女性の超過が多い傾向**
⇒ 女性の「**県外流出**」への傾向が、今後の人口に与える影響大
- 転出先の状況**<四国は徳島以外の3県>
 - ・「15歳～29歳」の転出数6,425人
近畿2,119人/33%（男971/女1,148） 関東1,281人/20%（男685/女596）
四国1,089人/17%（男598/女491） 中国605人/9%（男349/女256）
 - ・県外大学への進学者総数2,010人<H30文科省学校基本調査>
大阪圏744人(37%) 中国359人(18%) 四国323人(16%) 東京圏273人(14%)
⇒ 今後、東京圏のみならず、**大阪圏、中・四国へのアプローチが重要**

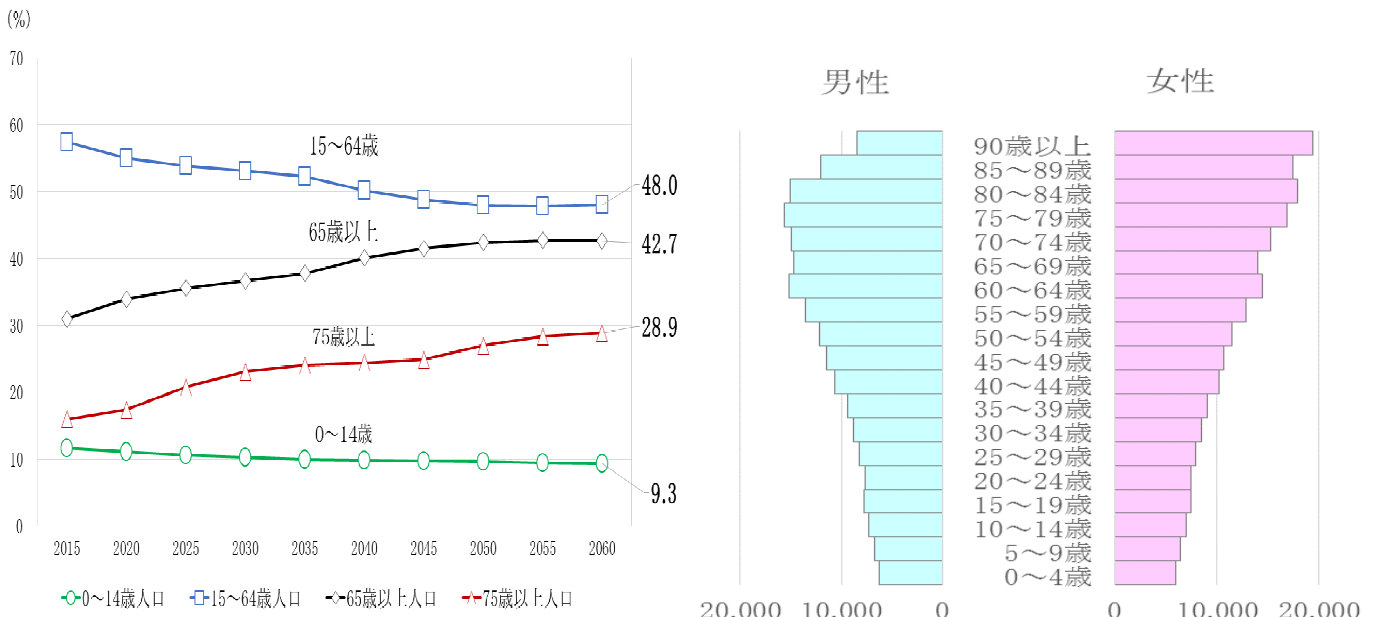
★最も減少幅の大きい「**20歳代**」への対策強化
★とりわけ高校・大学卒業をはじめ、**就職を選択する「20歳～24歳」**の年代への情報発信の強化
★**大阪圏**を中心とした対策の強化
★「**女性目線**」での対策強化

社人研による推計人口（H30）

① 徳島県の総人口

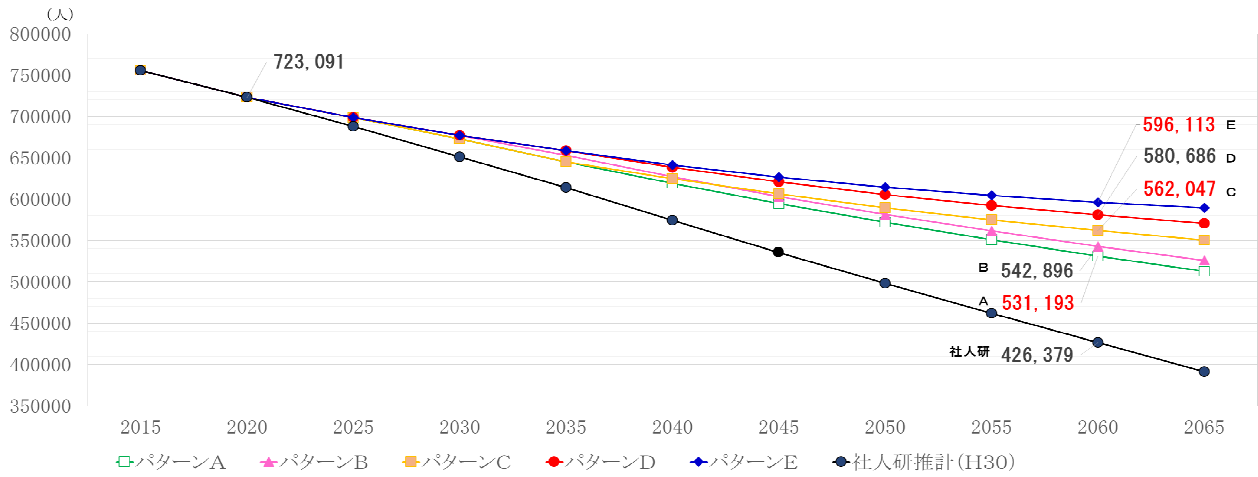


② 年齢区分ごとの推移

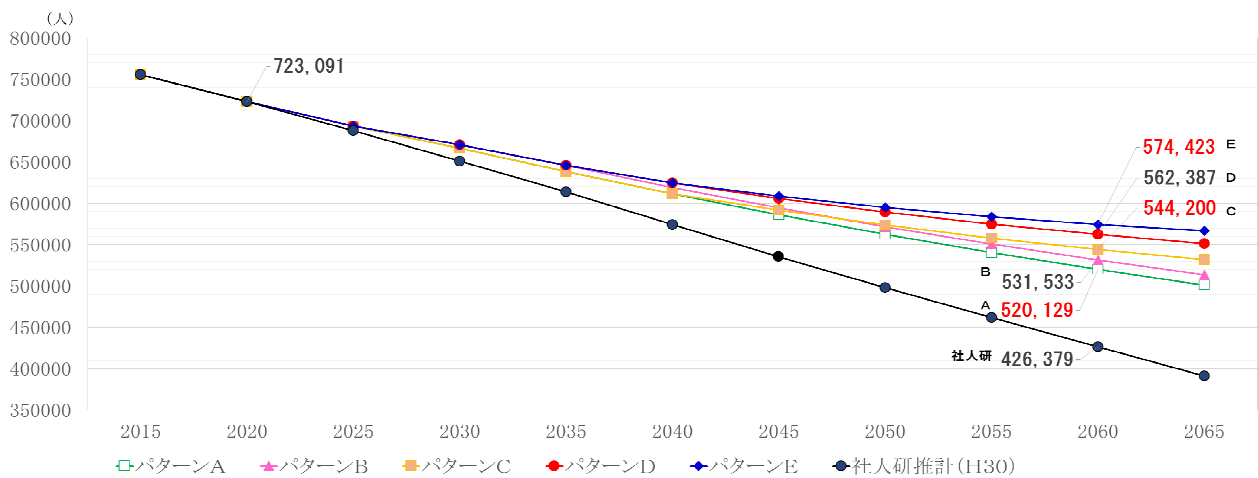


社人研推計 (H30)	2020年				2060年			
	男性(人)	女性(人)	Total	割合	男性(人)	女性(人)	Total	割合
年少人口 (0-14歳)	40,994	38,840	79,834	11.0%	20,405	19,371	39,777	9.3%
生産年齢 (15-64歳)	197,802	200,307	398,109	55.1%	104,730	99,960	204,689	48.0%
65歳以上人口	106,304	138,844	245,148	33.9%	80,914	100,998	181,912	42.7%
合計	345,100	377,991	723,091	100.0%	206,049	220,329	426,379	100.0%

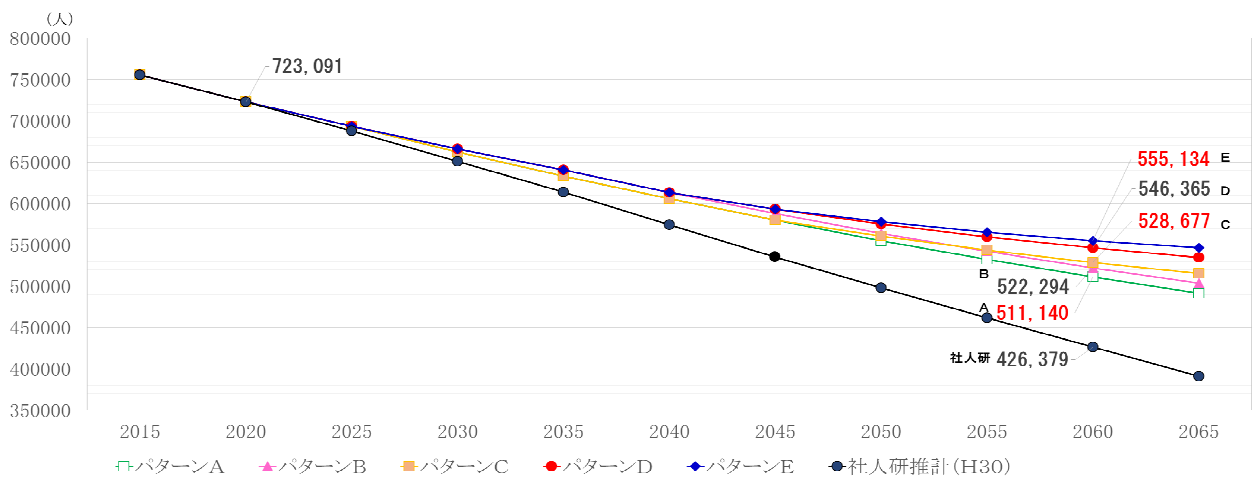
① 徳島県の将来推計人口（2025年：転入・転出均衡）の場合



② 徳島県の将来推計人口（2030年：転入・転出均衡）の場合



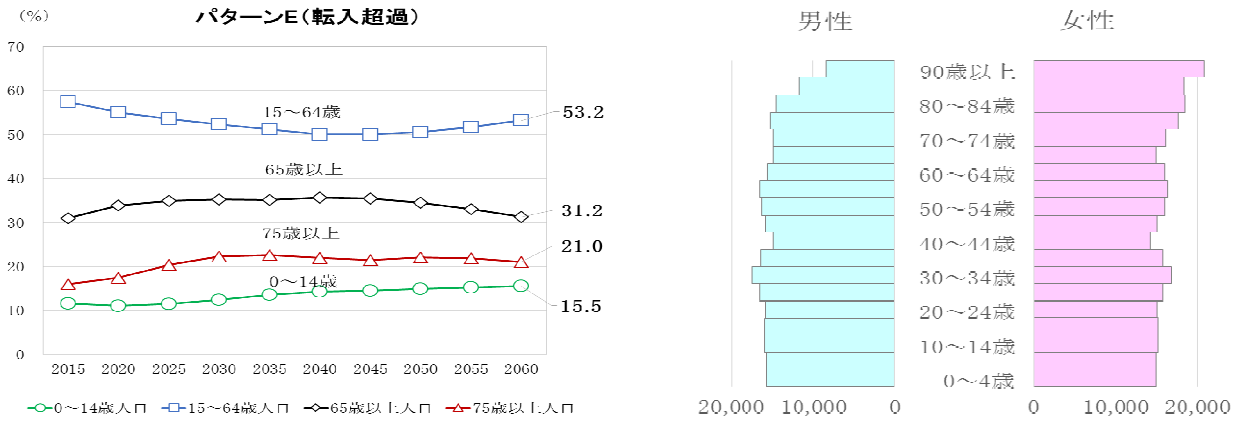
③ 徳島県の将来推計人口（2035年：転入・転出均衡）の場合



【シミュレーションの条件設定】 ※アンダーライン=現人口ビジョンにも含まれる条件設定

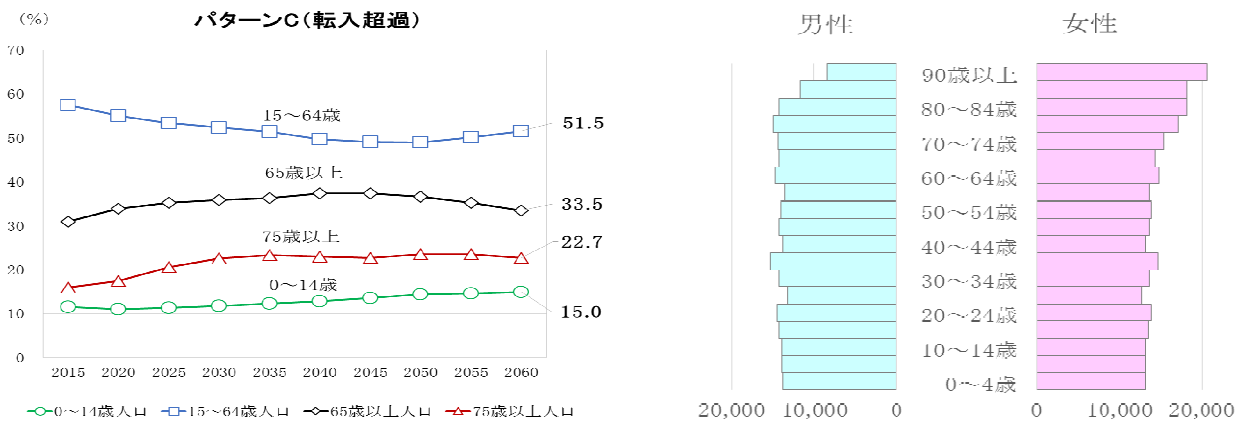
- **パターンA（均衡）**：合計特殊出生率が上昇（2025年以降：1.80、2040年以降：2.07）
- ▲ **パターンB（均衡）**：合計特殊出生率が上昇（2025年以降：1.80、2030年以降：2.07）
- **パターンC（転入超過）**：合計特殊出生率が上昇（2025年以降：1.80、2040年以降：2.07）
転入数が転出数を上回る（均衡年から10年目以降：1,000人転入超過/年）
- **パターンD（転入超過）**：合計特殊出生率が上昇（2025年以降：1.80、2030年以降：2.07）
転入数が転出数を上回る（均衡年から5年目以降：1,000人転入超過/年）
- ◆ **パターンE（転入超過）**：合計特殊出生率が上昇（2025年以降：1.80、2030年以降：2.07）
転入数が転出数を上回る（均衡年から5年目以降：1,000人転入超過/年、均衡年から10年目以降：1,500人転入超過/年）

① 年齢区分ごとの推計（「2025年均衡：パターンE」の場合）



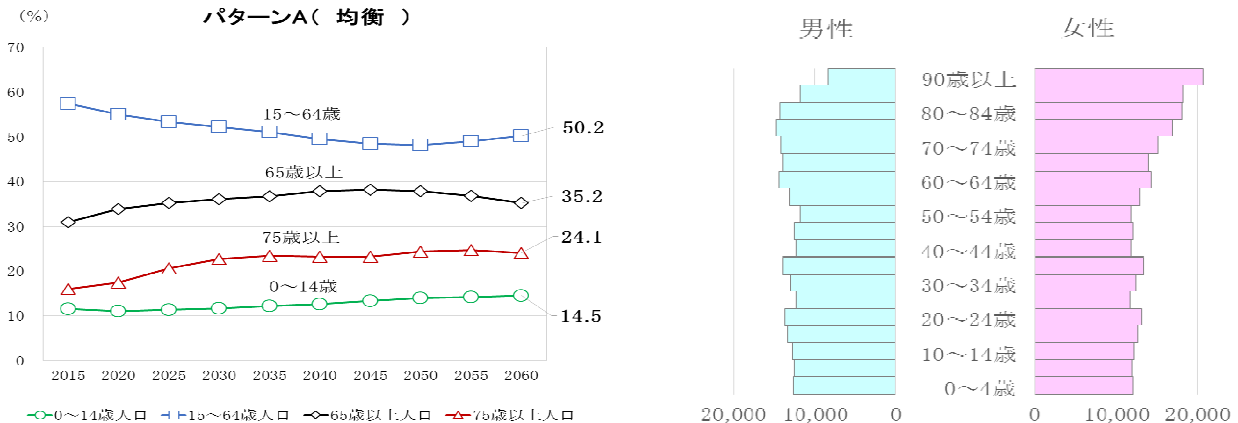
2025年均衡 パターンE	2020年				2060年			
	男性(人)	女性(人)	Total	割合	男性(人)	女性(人)	Total	割合
年少人口(0-14歳)	40,994	38,840	79,834	11.0%	47,418	45,108	92,526	15.1%
生産年齢(15-64歳)	197,802	200,307	398,109	55.1%	161,224	156,206	317,430	53.2%
65歳以上人口	106,304	138,844	245,148	33.9%	79,772	106,385	186,157	31.2%
合計	345,100	377,991	723,091	100.0%	288,414	307,699	596,113	100.0%

② 年齢区分ごとの推計（「2030年均衡：パターンC」の場合）



2030年均衡 パターンC	2020年				2060年			
	男性(人)	女性(人)	Total	割合	男性(人)	女性(人)	Total	割合
年少人口(0-14歳)	40,994	38,840	79,834	11.0%	41,761	39,720	81,481	15.0%
生産年齢(15-64歳)	197,802	200,307	398,109	55.1%	142,547	137,963	280,510	51.5%
65歳以上人口	106,304	138,844	245,148	33.9%	78,128	104,081	182,209	33.5%
合計	345,100	377,991	723,091	100.0%	262,437	281,763	544,200	100.0%

③ 年齢区分ごとの推計（「2035年均衡：パターンA」の場合）



2035年均衡 パターンA	2020年				2060年			
	男性(人)	女性(人)	Total	割合	男性(人)	女性(人)	Total	割合
年少人口(0-14歳)	40,994	38,840	79,834	11.0%	38,038	36,158	74,196	14.5%
生産年齢(15-64歳)	197,802	200,307	398,109	55.1%	130,605	126,175	256,780	50.2%
65歳以上人口	106,304	138,844	245,148	33.9%	77,401	102,763	180,164	35.2%
合計	345,100	377,991	723,091	100.0%	246,044	265,096	511,140	100.0%

「新たな総合戦略（2020～2024）」骨子案 (vs東京『とくしま回帰』総合戦略～未知の世界への挑戦～(仮称))

1 策定方針

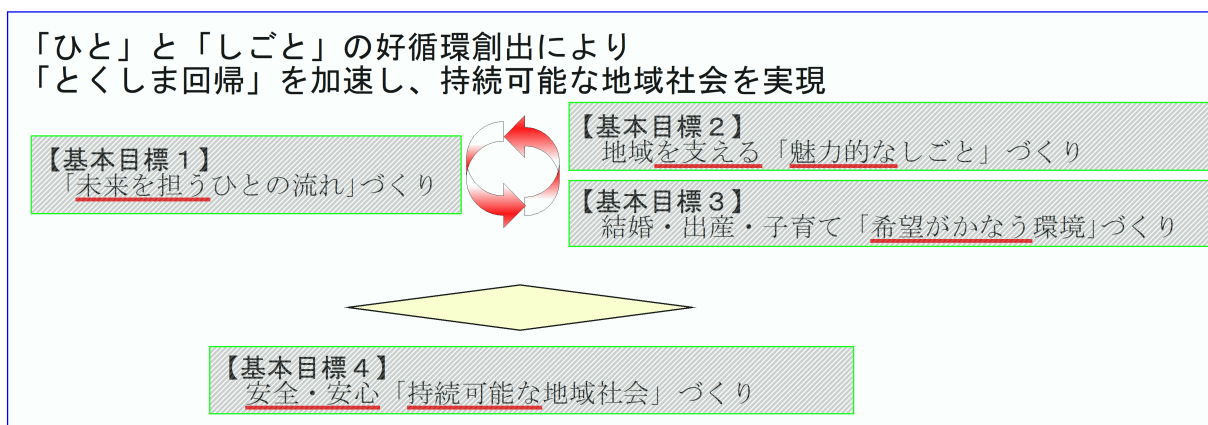
第1期の取組成果と課題を踏まえ、人口減少の克服、安心して暮らすことができる持続可能な地域社会の実現を目指し「人口ビジョン」を見直しの上、将来展望に向け、県を挙げて取り組むべき2020年からの**新たな5カ年戦略**を策定

2 基本姿勢

- ・SDGsの理念に沿った地方創生の実現に資する**取組みの推進**
- ・モノやサービスの生産性や利便性を飛躍的に向上させる**Society5.0の実現推進**をはじめとする、**新たな取組み「未知への挑戦」**を挙県一致で強力に展開
- ・学校教育はもとより、**地方創生の根幹となる人材の育成**に向けた取組みを強化
- ・県議会での審議に加え、**県内外の若者や外国人など多様な意見を反映**
- ・市町村との情報共有や連絡相談支援体制の構築による連携強化
- ・外部有識者が参画した「PDCAサイクル」により進化し続ける戦略運営

3 基本目標と戦略の概念

- ・基本目標、構成については、基本的に**第1期戦略から継続**
- ・基本目標に係る**数値目標は「新たな人口ビジョン」などを踏まえ設定**



4 具体的施策《課題解決への処方箋》

- (1) 「未来を担うひとの流れ」づくり
 - ・若者・女性などをターゲットとした戦略的な**移住施策等の強化**
 - ・新たな地域の担い手の創出・企業版ふるさと納税の促進などにつながる「**徳島ファン**」の創出・拡大
 - ・「ふるさと教育」をはじめとする**地域の将来を支える人材の育成**
 - ・政府関係機関移転の更なる推進
- (2) 地域を支える「魅力的なしごと」づくり
 - ・農林水産物をはじめとする世界に誇る「**とくしまブランド**」の戦略的展開
 - ・好機をとらえた**観光誘客の更なる強化**
 - ・Society5.0の実現や徳島の強みである「**光**」を軸とした**関連産業振興**による**魅力ある就業機会の創出**
- (3) 結婚・出産・子育て「希望がかなう環境」づくり
 - ・子育てトータルサポートの強力展開
 - ・未来技術を活用した多様な働き方の推進など「**ワーク・ライフ・バランス**」の実現に向けた取組み
 - ・困難を抱える子どもやDV問題等にきめ細やかに手をさしのべる**社会の実現**
- (4) 安全・安心「持続可能な地域社会」づくり
 - ・地域課題の克服に向けた**Society5.0の実現**
 - ・地方創生の基盤「**県土強靱化**」と「**事前復興**」の推進
 - ・人生100年時代に向け「**フレイル対策**」など**健康寿命延伸**に向けた取組みの展開
 - ・外国人をはじめ誰もが活躍できる**ダイバーシティの実現**